

## 公開シンポジウム

### ヒト iPS 細胞の創薬プロセスへの応用

～国際情勢を見据えた新規試験法開発を目指して～

日時： 2014年2月13日（木）13:30～17:15

会場： 東京大学弥生講堂 一条ホール

参加費無料《申し込み不要》

主催： 国立医薬品食品衛生研究所

安全性生物試験研究センター 薬理部

協賛： 日本安全性薬理研究会

日本動物実験代替法学会

ヒト iPS 細胞から作成される臓器細胞を用いた新規試験法の開発は、医薬品の安全性評価の分野で注目されている。本シンポジウムでは、心臓安全性評価における ICH ガイドラインを取り巻く最新の情報を提供するとともに、神経、肝臓における安全性評価への応用にに向けた研究の成果を報告する。

#### 【プログラム】

13:30～ 開会の辞

奥田 晴宏（国立医薬品食品衛生研究所 副所長）

13:35～ はじめに

「医薬品のヒト特異的有害反応評価系開発への期待」

関野 祐子（国立医薬品食品衛生研究所 薬理部）

#### セッション1. 心臓安全性評価にかかわる ICH ガイドラインを取り巻く最新情報

座長：佐藤 薫（国立医薬品食品衛生研究所 薬理部）

石田 誠一（国立医薬品食品衛生研究所 薬理部）

13:45～ 「薬物性催不整脈作用の統合的予測システム」

杉山 篤（東邦大学 医学部 薬理学）

14:15～ 「ヒト iPS 細胞由来心筋細胞を用いた安全性評価法の現状と今後の展望」

諫田 泰成（国立医薬品食品衛生研究所 薬理部）

14:45～ 「医薬品のインシリコ催不整脈リスク評価における現状と課題」

古谷 和春（大阪大学大学院医学系研究科 分子細胞薬理）

15:15～ 「Clinical Pharmacology in Integrated Cardiac Safety」

深瀬 広幸（一般財団法人メディポリス医学研究財団 シーピーシー治験病院）

休憩 15分

## セッション2. 創薬プロセスにおける分化細胞の応用可能性と課題

座長：諫田 泰成（国立医薬品食品衛生研究所 薬理部）

16:00～ 「hiPSC-ニューロンで神経特異的有害反応は予測可能か」

佐藤 薫（国立医薬品食品衛生研究所 薬理部）

16:35～ 「hiPSC-肝細胞とインシリコのデータ融合による安全性予測／メカニズム  
解析に向けた考察」

湯田 浩太郎（株式会社 インシリコデータ）

石田 誠一（国立医薬品食品衛生研究所 薬理部）

17:10～ 閉会の辞

光岡 俊成（厚生労働省 医薬食品局 審査管理課）

### 会場のご案内 東京大学弥生講堂 一条ホール

〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1 東京大学農学部内

Tel. : 03-5841-8205 Fax. : 03-5841-5028

<http://www.a.u-tokyo.ac.jp/yayoi/map.html>

#### 【交通案内】

地下鉄 東京メトロ 東大前駅（南北線） 徒歩1分

東京メトロ 根津駅（千代田線） 徒歩8分

都バス 御茶ノ水駅（JR 中央線、総武線）より

茶51 駒込駅南口又は東43 荒川土手操車所前行

東大（農学部前バス停）下車徒歩1分

#### 【案内図】



#### 【お問い合わせ先】

国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター 薬理部

〒158-8501 東京都世田谷区上用賀 1-18-1

Tel. : 03-3700-9692 Fax. : 03-3700-1452